



2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年10月1日

上場会社名 株式会社 サンデー 上場取引所 東
 コード番号 7450 URL <http://www.sunday.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 暢朗
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 和嶋 洋 TEL (0178) 47-8511
 四半期報告書提出予定日 2020年10月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の業績（2020年3月1日～2020年8月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	27,467	7.7	1,378	273.7	1,401	263.5	908	239.8
2020年2月期第2四半期	25,513	0.2	368	26.4	385	18.7	267	54.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	84.60	84.26
2020年2月期第2四半期	24.81	24.71

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	33,842	10,661	31.3
2020年2月期	33,763	9,862	29.0

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 10,608百万円 2020年2月期 9,803百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日(2020年10月1日)公表の「2021年2月期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年2月期の業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,500	2.4	1,020	169.5	1,050	159.1	550	—	51.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日(2020年10月1日)公表の「2021年2月期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期2Q	10,770,100株	2020年2月期	10,770,100株
② 期末自己株式数	2021年2月期2Q	35,575株	2020年2月期	40,123株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期2Q	10,733,898株	2020年2月期2Q	10,768,677株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等については添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2020年3月1日～2020年8月31日)におけるわが国経済は、政府による緊急事態宣言は解除されましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響を受け、経済活動が停滞し、景気が急速に悪化するなど、非常に厳しい状況となりました。

小売業界におきましては、同業他社や他業態との競争が激化している中、未だ収束が見えない新型コロナウイルス感染症による景気の下振れリスク、個人所得悪化に起因した個人消費の冷え込みなど、依然として厳しい経営環境が続く中で、さらに新型コロナウイルス感染予防策として新しい生活様式への対応が浸透する等、営業活動への影響を強く受けております。

このような環境の中、当社は住まいと暮らしの必需品並びに農業や建築業等の仕事に不可欠な品々を多数提供する社会的インフラ機能を果たすため、お客さまと従業員の安全を最優先に新型コロナウイルス感染予防策を徹底したうえで営業を継続してまいりました。実施した感染予防策としては、従業員のマスク着用や手指の消毒、お客さまが来店された際に手指の消毒に使用するアルコール製剤の設置、店舗の出入り口や窓を定期的に解放しての換気、全レジにおいてお客さまとチェッカーの間に飛沫感染を防止する透明ビニールシートの設置、買い物カゴやショッピングカートなど多数のお客さまが触れる部分の消毒、お客さまがレジで会計をお待ちになる際に社会的距離を保つ目安の設置などを行いました。ご来店いただいたお客さまが安心してご購入を楽しむことができるよう、今後も感染予防策を継続してまいります。

また、お客さまの利便性を向上させるために実施しているSUN急便(商品を宅配するだけでなくDIYアドバイザーの資格を持つ従業員が補修・修繕・取付まで実施するサービス)につきましては、新型コロナウイルスの感染予防のために来店を自粛している方からの注文が増加いたしました。また、サンデー公式アプリからSUN急便による商品配達を注文できるよう変更したこともあり配達件数、配達売上ともに前年を上回る実績となりました。

一方、当第2四半期累計期間における出店といたしましては、第1四半期に開店したいわき平店に続き、6月5日に宮城県塩釜市に塩釜店を開店いたしました。新型コロナウイルスの感染リスクを考慮して3密(密閉、密集、密接)を回避するためにオープニングセレモニー等を自粛して営業を開始いたしました。

商品面では、外出を自粛し家で過ごす時間が増加した方に向け、家屋の補修や修繕に関する商材を提案したことで、木材、金物、工具、塗料などのDIYに関連する商材の販売が増加いたしました。また、降雨と気温上昇により雑草の生育や害虫の発生が昨年より増加し、除草や殺虫に関連する商材の販売が前年を上回る実績となりました。更に、全国に発令されていた緊急事態宣言が東北地方では5月14日に解除されたものの、第1四半期から引き続いて、新型コロナウイルスの感染予防に関連する商材としてマスク、消毒液、除菌シートなどの販売が好調に推移したほか、外出自粛の継続により、調理家電、調理用品、バーベキュー用品などの販売が好調に推移いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における当社の売上高は274億67百万円(前年同期比19億53百万円の増)、営業利益は13億78百万円(前年同期比10億9百万円の増)、経常利益は14億1百万円(前年同期比10億15百万円の増)、四半期純利益は9億8百万円(前年同期比6億40百万円の増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に対して79百万円増加し338億42百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加2億48百万円、在庫削減政策に伴う商品及び製品の減少4億34百万円、原材料及び貯蔵品(災害備蓄品等)の増加2億2百万円、投資その他の資産(長期貸付金等)の増加1億73百万円等によるものであります。

負債については、前事業年度末に対して7億19百万円減少し231億81百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加11億81百万円、未払法人税等の増加4億94百万円、流動負債その他(未払金、未払消費税等)の増加2億8百万円、短期借入金の減少35億50百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加3億59百万円、長期借入金の増加4億88百万円等によるものであります。

純資産については、前事業年度末に対して7億99百万円増加し106億61百万円となりました。これは主に四半期純利益9億8百万円の計上と配当金の支払い1億7百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により未定としておりましたが、業績予想を算出いたしましたので公表いたします。詳細につきましては、本日(2020年10月1日)公表の「2021年2月期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	880,415	1,128,981
受取手形及び売掛金	571,581	615,759
商品及び製品	11,072,424	10,638,319
原材料及び貯蔵品	73,285	275,642
その他	477,249	486,610
流動資産合計	13,074,956	13,145,313
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,336,999	6,160,142
土地	8,481,207	8,436,881
その他(純額)	1,962,058	2,021,944
有形固定資産合計	16,780,265	16,618,968
無形固定資産		
その他	120,637	118,168
無形固定資産合計	120,637	118,168
投資その他の資産		
その他	3,794,823	3,968,060
貸倒引当金	△7,554	△7,544
投資その他の資産合計	3,787,268	3,960,515
固定資産合計	20,688,170	20,697,652
資産合計	33,763,127	33,842,965
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,266,122	10,448,078
短期借入金	4,050,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	2,414,400	2,773,600
未払法人税等	94,681	588,897
賞与引当金	267,688	334,725
その他	1,860,785	2,069,725
流動負債合計	17,953,678	16,715,027
固定負債		
長期借入金	3,898,500	4,387,100
退職給付引当金	211,576	199,197
資産除去債務	783,906	792,179
その他	1,053,024	1,087,733
固定負債合計	5,947,008	6,466,211
負債合計	23,900,686	23,181,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,241,894	3,241,894
資本剰余金	3,258,111	3,256,917
利益剰余金	3,372,456	4,173,210
自己株式	△63,306	△56,135
株主資本合計	9,809,155	10,615,888
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,812	△7,198
評価・換算差額等合計	△5,812	△7,198
新株予約権	59,098	53,037
純資産合計	9,862,441	10,661,727
負債純資産合計	33,763,127	33,842,965

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	25,513,599	27,467,029
売上原価	17,900,638	18,835,258
売上総利益	7,612,960	8,631,770
販売費及び一般管理費	7,244,058	7,253,024
営業利益	368,902	1,378,746
営業外収益		
受取利息	2,060	2,122
受取配当金	1,935	1,917
受取手数料	3,474	2,569
受取賃貸料	53,803	52,376
その他	19,039	17,809
営業外収益合計	80,312	76,794
営業外費用		
支払利息	32,598	28,854
賃貸費用	19,300	18,330
その他	11,906	7,216
営業外費用合計	63,804	54,401
経常利益	385,410	1,401,140
特別利益		
固定資産売却益	21,915	—
特別利益合計	21,915	—
特別損失		
固定資産売却損	8,074	15,838
減損損失	—	32,500
特別損失合計	8,074	48,338
税引前四半期純利益	399,252	1,352,801
法人税、住民税及び事業税	157,258	512,801
法人税等調整額	△25,214	△68,053
法人税等合計	132,043	444,747
四半期純利益	267,208	908,054

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	399,252	1,352,801
減価償却費	553,025	517,234
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△30	△10
賞与引当金の増減額(△は減少)	66,774	67,036
役員業績報酬引当金の増減額(△は減少)	5,437	△2,065
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△2,050	△2,103
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△18,714	△12,379
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△13,643	5,871
受取利息及び受取配当金	△3,995	△4,039
支払利息	32,598	28,854
投資有価証券評価損益(△は益)	3,053	—
固定資産売却損益(△は益)	△13,841	15,838
減損損失	—	32,500
売上債権の増減額(△は増加)	△364,490	△44,177
たな卸資産の増減額(△は増加)	△395,937	231,747
仕入債務の増減額(△は減少)	1,881,313	1,181,955
未払消費税等の増減額(△は減少)	97,730	89,707
その他の資産の増減額(△は増加)	△14,769	70,409
その他の負債の増減額(△は減少)	339,301	194,367
小計	2,551,013	3,723,549
利息及び配当金の受取額	2,033	1,982
利息の支払額	△32,373	△28,614
法人税等の支払額	△27,542	△36,549
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,493,130	3,660,368
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△105,000	△105,000
定期預金の払戻による収入	105,000	105,000
有形固定資産の取得による支出	△103,308	△421,811
有形固定資産の売却による収入	105,084	50,310
無形固定資産の取得による支出	△17,668	△12,452
貸付けによる支出	—	△180,000
貸付金の回収による収入	34,691	52,740
差入保証金の差入による支出	△36,568	△4,213
差入保証金の回収による収入	19,543	9,512
その他	△6,215	△15,105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,442	△521,019
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△820,000	△3,550,000
長期借入れによる収入	—	2,200,000
長期借入金の返済による支出	△1,107,200	△1,352,200
自己株式の取得による支出	—	△86
配当金の支払額	△107,528	△107,122
その他	△86,331	△81,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,121,059	△2,890,783
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	367,628	248,565
現金及び現金同等物の期首残高	545,187	775,415
現金及び現金同等物の四半期末残高	912,815	1,023,981

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

当社は、ホームセンター事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

当社は、ホームセンター事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。